ほけんだより 11 月号



社会福祉法人大和善隣館
やざき乳児保育園
令和８年 11 月

朝晩の冷え込みが、ぐんと厳しくなりました。日中との寒暖差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすく、さまざまな感染症も流行しやすくなります。十分な栄養と睡眠をとりながら、規則正しい生活を心がけ、本格的な冬に向けて風邪に負けない丈夫な体づくりをしていきましょう

自分の体に興味関心を持てるように様々な活動をしています



聴診器の玩具を使ったり、お人形の身長を測ったりしながら先生になりきっています。遊びを通して、自分の体に興味関心を持ち、少しずつ自分の体を知り、体を大切にする気持ちにつながるよう活動をしています。



大きくなったかなーをしますよ















心臓のドクドクは静かにしないと聞こえないよ

歯科健診のおしらせ

11 月 13 日（金）９：00 より曽山歯科クリニックの曽山医師による歯科健診を行います。
お忙しいところ恐れいりますが、検診当日は、８：50 分までに登園してくださるようお願いいたします。
なお、当日やむを得ず欠席されるかたは、後日、保護者のかたと曽山歯科クリニックへ検診に行っていただきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。



秋から冬にかけて感染性胃腸炎が流行りだします。注意しましょう！

感染症胃腸炎の感染経路



注意してください

医師の診断に関わらず、24 時間以内に嘔吐２回以上、下痢２回以上あった場合は登園できません。また 24 時間以内に嘔吐１回、下痢１回合わせて２回あった場合も登園できません。

※感染症流行時は回数に関わらず、園からご連絡させていただく事があります。感染拡大防止のためご理解とご協力をお願いいたします。

嘔吐や下痢で汚れてしまった服は「保育園における感染対策ガイドライン」に基づき**汚れたままお返し**することとなっております。

「嘔吐処理の仕方」を【ほけんだより 11 月号増刊号】でお知らせいたします。嘔吐処理の仕方の参考になさってください。

感染性胃腸炎

主に嘔吐や下痢、食欲不振、発熱などを起こす病気です。原因のほとんどはウイルスで、小児科では「お腹の風邪」と診断されることもあります。免疫力が十分に育っていない子どもはかかりやすいです。　　排泄物や嘔吐処理をした後の手洗いは、しっかり行い二次感染を防ぎましょう。

感染性胃腸炎のウイルスは、アルコールでは除去できません。嘔吐処理をするときは、窓を開け換気をしてから、塩素系漂白剤で薄めたもの（水 1L＋塩素系漂白剤 20ml）で消毒しましょう。汚れた衣服も汚物を取り除き、１分以上の熱湯消毒か、塩素系漂白剤薄め液に３０分つければ通常通りの洗濯ができます。

★ウイルス性⇒冬から春に多い

①ノロウイルス
【症状】突然の嘔吐とそれに続く下痢。腹痛、嘔気、下痢のみのこともある。筋肉痛、倦怠感、頭痛を伴うこともある。

②ロタウイルス
【症状】白っぽい下痢便、嘔気、嘔吐、発熱

③アデノウイルス
【症状】発熱、下痢、咳、喉の痛み、結膜炎

★細菌性⇒夏に多い重症化することもある

①病原菌大腸炎（O157 など）→肉・肉加工品・漬物・井戸水
【症状】強いお腹の痛み、下痢、血性下痢

②カンピロバクター→肉（主に鶏肉）・菌に汚染された水・生野菜
【症状】発熱、倦怠感、頭痛、腹痛、嘔吐、下痢

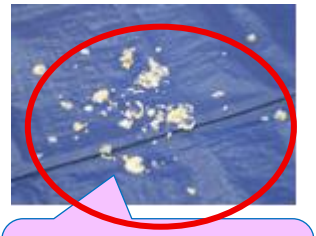
③サルモネラ菌→卵、肉（主に鶏肉）
【症状】発熱、腹痛、下痢、嘔吐

ほけんだより 11 月号増刊号
《嘔吐処理の仕方について》



嘔吐処理の手順

嘔吐したら、まずお部屋の換気をしましょう



床に落ちた時点で、吐物は 1.5～2m飛び散ります。

ノロウイルスの場合
嘔吐物に含まれるウイルス量
吐物 1ｇ中に 10 万～100 万個含まれます
ウイルスが 10～100 個で感染します！

物品準備例



1000ppm（0.1％）の次亜塩素酸ナトリウムを作ります
ハイターキャップ 2 杯＋水 2ℓ



・バケツ　・ハイター　・空ペットボトル　・キッチンペーパー（白のボロタオル）
・新聞紙　・使い捨て手袋　・使い捨てエプロン　・マスク　・アルコール手指消毒液
・フットカバー（シャワーキャップで代用可）　・二重ごみ袋

1 窓を開け、必要物品（消毒液含む）を準備し、手袋・エプロン・マスク・フットカバーを装着します。



2 嘔吐物を新聞紙などで覆い、消毒液をかけます。



3 吐物を覆った新聞紙（キッチンペーパー）を外側から内側に集め、吐物をすべて取りきります。



矢印の方向に拭き取ります

ポイント
汚染を防ぐため、膝とエプロンの裾は床に付かないようにします。

4 吐物を完全に拭ったら 1 重目のごみ袋をしばります。縛り終わったら、手袋を外し、2重目のゴミ袋に入れ、手指消毒をしてから新しい手袋に交換します。

ポイント
ゴミ袋を縛る時は顔を横に向けウイルスを吸い込まないようにします。



5 再度、汚染区域の消毒をします
ペーパータオルで汚染区域を覆いペーパーの上から消毒液を全体にかけ 10 分間放置し、（この時は消毒効果がさがることから、新聞紙は使いません）
ペーパータオルをゴミ袋に入れ回収します。



6 手袋→エプロン→マスクの順に外し、ごみ袋（二重目）を閉めます。手袋を外した後、
手指消毒→石鹸と流水で手洗い→手指消毒をします。

嘔吐者も着替えた後、流水と石鹸で手洗いし、手指消毒をしましょう。



汚れた衣類の跡片付け

汚染衣服を取り扱う時も、お部屋の換気・エプロン・手袋・マスクを装着して行いましょう。
2重にしたナイロン袋に 85℃以上のお湯に 1 分以上つけるか 0.1％の消毒液 30 分以上つけたあと（ハイターつけると衣服は漂白されます）他のものと分けて洗濯するか、ゴミとして出します。

取り扱いが終わった後も流水と石鹸でしっかり手洗い・手指消毒をしましょう。
体についた汚物は、シャワーや手洗いで流します。使用した後、消毒液で消毒します。

